

第3回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の概要

1 日 時 令和3年5月31日（月） 午後1時から午後3時まで

2 場 所 徳島県庁10階 大会議室

3 出席者

（1）委 員 15名中13名出席

（2）県教委 教育次長，教育創生課長，他事務局員計4名

4 議事概要

（1）事務局説明

①徳島県公立高等学校・中等教育学校のスクール・ミッション一覧について

②「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の広報イメージについて

③スクール・ポリシーについて

・スクール・ポリシーの概要について

・スクール・ポリシー作成上の留意点について

・スクール・ポリシーに基づく教育活動の評価等について

（2）意見交換

5 意見交換において検討会議委員から出された主な意見

（1）徳島県公立高等学校・中等教育学校のスクール・ミッション一覧について

①スクール・ミッションは，固有名詞を多用するなど各校の特長がよく出ている上に，子どもにも分かりやすい文言で表現されている。

（2）「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の広報イメージについて

①QRコードを多用しながら，制服やPR動画等がすぐに見られるようになっており，見やすさ・分かりやすさの視点から工夫が凝らされている。

②中学生や保護者にダイレクトに伝え，県外へ広報することも視野に入れて，ホームページだけでなくSNSも活用した方が良いのではないかな。

③高校の体験入学がコロナ禍で開催が困難な中，動画による情報提供や入試広報に，より一層取り組み，中学生の高校に対する理解が深まるようにしてほしい。

④作成後，各学校が毎年更新する際に，県教委と学校でしっかり協議して調整し，よりよいものにしていくことが重要である。

（3）スクール・ポリシーについて

①学校運営協議会を有効に活用し，学校関係者の意見を評価に反映させて，スクール・ポリシー及びそれに基づく教育活動の改善につなげてほしい。

②スクール・ポリシーに基づく教育活動の評価は，学校の教員が「評価疲れ」を起こさないよう，「学校評価」を活用しながら評価すればいいのではないかな。

③「入学者の受入れに関する方針」に係る取組を入学時に評価するのであれば，高校入試の受検者数や昨年度との比較で評価するしかないのではないかな。

④「入学者の受入れに関する方針」に係る取組の評価は，当該生徒が入学後しばらく経って活躍しているかなど，継続的に見ることで可能になるのではないかな。